

愛知県名古屋市中区（旧呉服町）方言における 身体感覚を表すオノマトペ

太田有多子

はじめに

- 1、調査対象地：名古屋市は愛知県西部、濃尾平野の中央に位置し、伊勢湾に面している。江戸時代より商業都市として栄えており、現在8大都市の一つであり、人口は昭和63年（1988）現在200万余人である。中区は名古屋市16区（2100余町）のひとつで、かつて徳川家康の子義直が尾張藩主として、名古屋に築城した際の城下町である。ここには「清洲越ヲスリ」による町名が多くあった。呉服町もそのひとつで、戦前までは商家の町並みを残していたが、第二次世界大戦による戦禍に遭い、現在は中区丸の内、錦という地名を持つ、官庁街、ビジネス街となっている。戦前の呉服町には、染物屋、洗い張り屋、ラシャ屋などが多くあった。

交通はJR、名鉄、近鉄の名古屋駅から地下鉄桜通線5分「丸の内」、
地下鉄東山線5分「栄」下車

- 2、調査年月日：平成3年（1991）11月3日

- 3、話者：平林信子 大正14年（1925）生まれ

呉服町4丁目生まれ、昭和23年より昭和区河原通に在住

- 4、調査者：太田有多子

調査場所：平林氏宅居間にて

- 5、調査方法：事前に調査票を渡し、調査当日は話者中心の会話の中で回答して貰った。

I 全身の感覚

1-1、快不快

<快感>

○汗をかいたが、風呂に入って～した。

「スー」とス「カー」ッと・シャ「キ」ッと・サ「ッパ」リ

◎オ「フロ」エ「ヘア」タモンデ ス「カー」ットシ「タ」ワ（お風呂へ入ったから、スカーッとしたよ。）

※スー・スカーッとを多用

○うれしくて身体が～する。

ズ「ーン」と

- ◎ソ「ュー「イ「ーガラ「ミ「ルト カ「ラダガズ「ーン」トスルグライス「キ」ナンダワ（そういう良い柄を見ると、身体がズーンとするくらい好きなのだよ。）

※ズーンはゾクゾク<快感>と同感覚

<不快感>

- めまいがして、身体が～する。

グ「ラー」と・フ「ラ」フラ_フー「ラ」フラ_フー「ラ」ッフラ

- 疲れて、身体が～する。

ド「ーン」と

- ◎イ「チー」ンチ オ「ンナジコトバッカ」ヤ「ッテ カ「ラダガ」ド「ーン」トキ「テ」マッテネー（一日、同じことばかりして、身体がドーンときてしまっただよ。）

- 怖い話を聞いて、身体が～する。

「ム」ズムズ・ム「ズムズー

- 空腹のあまり、身体が～する。

フ「ラ」フラ_フー「ラ」フラ・フー「ラ」ッフラ・ヒョ「ロ」ヒョロ__ヒョー「ロ」ヒョロ_ヒョー「ロ」ッヒョロ

- ◎「ア」サカラタ「ベトラ」ンモンデ ヒョ「ロ」ヒョロシ「トル」（朝から食べてないから、ヒョロヒョロしている。）

※痩せた体型を表す表現：「ヒョ」ロヒョロ（アクセントが違う）

- 筋肉がたるんで、身体が～する。

ダ「ブ」ダブ_ダー「ブ」ダブ_ダーッ「ブ」ダブ_ダー「ブ」ッダブ・ダ「ブ」ンダブ_ダー「ブ」ンダブ_ダ「ブー」ンダブ_ブ「ヨ」ブヨ_ブー「ヨ」ブヨ・ブ「ヨ」ンブヨン_ブ「ヨー」ンブヨン

- 疲れて、筋肉が～する。

「ピ」クピク・ピ「ク」ンと・ピ「ク」ッと

1-2、寒さ

- 寒くて寒くて、身体が～震える。

ガ「タ」ガタ_ガー「タ」ガタ・「ブ」ルブル

※ブルブルを多用

- あまりの寒さに背中が～する。

ス「コ」スコ・「ス」ースー・ソ「ー」ソー・「ゾー」ッと・ゾ「クー」ッと

- ◎セ「ナカガ」ス「コ」スコスルデ 「マー」イ「チ」メアーキ「ヨ」カ（背中がスコスコするから、もう一枚着ようか。）

※寒さの程度：スコスコ・スースー<ゾーッと・ゾクーッと<ゾーゾー

※スースーよりもスコスコを多用

※ゾクーッとよりもゾーッとを多用

○風邪をひいたみたいだ。背中が～する。

「ゾクゾク」「ゾー」クゾク(ゾー「ク」ゾク)・「ゾーン」と・

「ゾ」ンゾン「ゾー」ンゾン

◎カ「ゼヒ」ータト「ミ」エテセ「ナカガサ」ツキカ「ラ」ゾー「ン」ゾンスル
デ「ハ」ヨネ「ヨー」カ(風邪をひいたとみえて、背中がさっきからゾーンゾ
ンするから早く寝ようか。)

※体調の悪さの程度：ゾクゾク系<ゾーンと<ゾンゾン系

1-3、熱さ

○酒を飲んだら、身体が暖まって～してきた。

ホーッ「カ」ホカ・ポーッ「カ」ボカ

◎サ「ケオノ」ンダモンデカ「ラダガ」ヌ「クトマ」ッテホーッ「カ」ホカ
シテキタ(酒を飲んだから、身体が暖まってホーッカホカしてきた。)

※ポーッカボカよりもホーッカホカを多用

○卵酒を飲んだら、身体が～してきた。

ボ「カー」ツと・「ポー」ツと・「ポ」ツポ「ポー」ツポ

◎タ「マゴザ」ケオ「ノ」ンダラカ「ラダガ」ボ「カー」ツトシ「テ」キタ
(卵酒を飲んだら、身体がボカーツとしてきた。)

※ボカーツを多用

※ポーツは共通語的な表現

※ポツポ系は女性言葉だがあまり使用せず

○熱があつて、額が～だ。

チ「ンチコチ」ン「チ」ーンチコチン

◎ネ「ツ」ガチ「ーンチコチ」ンニ「アー」ルシ「サ」ー(熱がチーンチコチン
にあるしね。)

II 皮膚の感覚

○空気が乾燥していて、肌が～する。

カ「サ」カサ「カ」サ「ツ」カサ「カー」サ「カ」サ「カー」ツ「サ」カサ・

カ「サー」ツと・ガ「サ」ガサ「ガ」ツサ「ガ」サ「ガー」サガサ・

ガ「サー」ツと

※ガサガサ系よりもカサカサ系を多用

○肌荒れがひどくて～する。

ザ「ラ」ザラ「ザ」ラ「ツ」ザラ「ザー」ラ「ザ」ラ「ザー」ツ「ラ」ザラ・

ザ「ラー」ッと

- 温泉に浸かって、肌が～する。

ツ「ル」ツル__ツ「ル」ツツル__ツ「ル」ツル__ツ「ル」ツツル・
ツ「ル」ツと・ツ「ル」ンツルン・ス「ベ」スベ__ス「ベ」ツスベ__
「ス」ベスベ__ス「ベ」ツ「ベ」スベ・「サ」ラサラ__サ「ラ」サラ__
サ「ラ」ツサラ・サ「ラ」ツと

◎「ハ」ダミ「テ」__ツ「ル」ツルシ「テ」ルワ（肌を見て。ツルツルして
るよ。）

※ツルツル系を多用

- 頭が禿上がって～している。

ツ「ル」ツル__ツ「ル」ツツル__ツ「ル」ツル__ツ「ル」ツツル・
ツ「ル」ンツルン__ツ「ル」ンツルン__ツ「ル」ンツルン
※ツルンツルン系を多用

- 海水浴で日焼けして、背中が～する。

「ヒ」リヒリ__ヒ「ッ」リ「ヒ」リ・「ピ」リヒリ__「ピー」リヒリ__
ヒ「ッ」リ「ヒ」リ・「ピ」リツヒリ__「ピー」リヒリ
※ビリビリ系を多用

- 火傷したところが～する。

ヒ「リ」ヒリ__ヒ「ッ」リ「ヒ」リ__ヒ「ッ」リ「ヒ」リ・ヒ「リ」ヒリ__
ヒ「ッ」リ「ヒ」リ__ヒ「ッ」リ「ヒ」リ
※ビリビリ系を多用

- 切り傷が～痛い。

ピ「リ」ヒリ__ピー「リ」ヒリ__ピーツ「リ」ヒリ

- 擦り傷が～痛い。

ヒ「リ」ヒリ__ヒ「ッ」リ「ヒ」リ__ヒ「ッ」リ「ヒ」リ

- 静電気で手が～する。

ピ「リ」ヒリ・ピ「リ」ツと

- 傷口が～痛い。

ズ「キ」ズキ（「ズ」キズキ）__ズ「ツ」キ「ズ」キ__「ズ」キズキ

- できものが～痛い。

ズ「キ」ンズキン__ズ「ツ」キ「ンズ」キン__ズ「キ」ンズ「キ」ン

- 傷口が膿んで～している。

ジュ「ク」ジク__ジュ「ク」ジク・ジュ「ル」ジュール・ジ「ク」ジク
※ジクジクを多用

- できものが腫れて～だ。

ボ「ンボン」_ボ「ーンボン」・ボ「ンボコリ」ン_ボ「ーンボコリ」ン

※ボンボン系を多用

○傷の治りかけで～する。

「ム」ズムズ（ム「ズ」ムズ）_「ムー」ズムズ

○霜焼けの治りかけで～する。

モ「ゾ」モゾ_モー「ゾ」モゾ

◎シ「モヤケ」ガヒ「ドナッテ」キ「タモ」ンデ モー「ゾ」モゾスルワー（霜焼けがひどくなってきたから、モーゾモゾするよ。）

○今日は暑い。汗で背中が～だ。

ビ「タビタ」_ビ「ツタビタ」_ビー「タビタ」_ビーッ「タビタ」・ビ「ツタンコ」_

ビーッ「タンコ」・シ「メシメ」_シー「メシメ」

◎コ「シヒモヤ」ヘ「ココビマ」デ シ「メシメダ」ガネ（腰紐や兵児帯までシメシメだよ。）

◎「チョー」トミ「テ」「ア」セビーッ「タンコナ」ンダワ（ちょっと見て。汗でビーツタンコなのだよ。）

※水気の程度：シメシメ系<ビタビタ系<ビツタンコ系

※湿気のある場所：「シ」メシメ（アクセントが違う）

○泥（または鉛）で手が～だ。

ベ「トベト」・ベ「タベタ」_ベ「ツタベタ」_ベー「タベタ」_ベーッ「タベタ」・

ベ「ツタンコ」_ベーッ「タンコ」

◎ノ「ニ」ー ド「ロ」ベ「ツタンコニツ」ケア（何、泥をベツタンコに付けて・・・。）

※ベトベト（上品、共通語的な表現）よりベタベタ系・ベツタンコ系を多用

○手足に何か～したものが触った。

ヌ「メー」と・ヌ「ルー」と

※ヌメー（共通語的な表現）よりヌルーを多用

○背中に何か入って～する。

「ム」ズムズ_「ムー」ズムズ・「モ」ソモソ（モ「ソ」モソ）_

「モー」ソモソ（モー「ソ」モソ）・モ「ソ」モゾ_モー「ゾ」モゾ

◎セ「ナカント」コ モー「ソ」モゾシ「ト」ルデミ「テー」（背中の所がモーソモゾしているから見て。）

※ムズムズ系（共通語的な表現）よりもモゾモゾ系・モソモソ系を多用

III 頭部

3-1、頭

○熱で、頭が～する。

「フ」ラフラ_「フー」ラフラ・「ク」ラクラ(ク「ラ」クラ)_
ク「ラ」ックラ_クー「ラ」クラ・「グ」ラグラ_「グー」ラグラ・
「ガ」ンガン_「ガー」ンガン

◎ネ「ツ」ガ「ア」ルモンデ ア「タマノ」 「オ」クガ「ガー」ンガンスル(熱があるから、頭の奥がガンガンする。)

※頭痛の程度：フラフラ系・クラクラ系<グラグラ系<ガンガン<ガンガン

※身体がふらつく場合：フ「ラ」フラ_フー「ラ」フラ(アクセントが違う)

○このかみが痛くて～する。

「シ」カシカ_シー「カ」シカ_シ「カシカー」・「ズ」キズキ_ズ「ツキ」ズキ
_「ズー」キズキ(ズー「キ」ズキ)・「ズ」ツキン「ズ」キン
(ズ「ツキ」ンズキン)_ズ「キー」ンズキン_ズーツ「キ」ンズキン_
ズーツ「キ」ンズ「ツキ」ン・「カ」ンカン

※偏頭痛の程度：シカシカ系<ズキズキ系<ズキーンズキン<ズーツキンズツキ
ン<カンカン

3-2、顔

○恥ずかしくて顔が～する。

「ボ」ッと_「ポー」ッと・「ポー」ッポ・「カー」・「カ」ツッカ_「カー」ツカ

◎ハズ「カ」シテハズ「カ」シテ カ「オガ」 「カー」シテマッテ「ネ」ー

(恥ずかしくて、恥ずかしくて、顔がカーとしてしまっただね。)

※カーを多用

3-3、目

○テンビを見すぎて、目が～する。

「シ」カシカ_シ「カシカー」_シ「ツカ」シカ_シー「カ」シカ_

シーツ「カ」シカ・「ショ」ボショボ(ショ「ボ」ショボ)_

「ショー」ボショボ

◎テー「ム」タテケ「ム」タテ 「メ」ガ「ショー」ボショボスルワ(煙たくて、
煙たくて、目がショーボショボするよ。)

○太湯がまぶしくて、目が～する。

「チ」カチカ(チ「カ」チカ)_「チー」カチカ_チーツ「カ」チカ

○目にゴミが入って～する。

「ゴ」ロゴロ(ゴ「ロ」ゴロ)_「ゴー」ロゴロ

3-4、耳

○あうるさい。耳の奥が～する。

「ガ」ンガン_「ガー」ンガン

○あまり大きな音だったので、耳がまだ～する。

「ジー」と・「ジ」ンジン・「キー」と・「キ」ンキン

◎ミ「ミ」ガ「ジー」ントシ「テ」マツタ「ワ」(飛行機が通って)耳がジーンとしてしまったよ。)

※ジーンを多用

○山頂は気圧が低いので、耳が～する。

「ポー」と(ポ「ーン」と)・ポ「ーン」ボン・チ「ーン」と

※ポーン・ポーンボンを多用

○耳にごみが入って～する。

「ゴ」ロゴロ_ゴ「ロ」ゴロ・「ガ」サガサ

○耳の中が膿で～する。

「ジ」ク「ジ」ク(ジ「ク」ジク)_「ジ」ー「ク」「ジ」ク_ジ「ー」ッ「ク」ジク

3-5、鼻

○くしゃみが出そうで、鼻が～する。

「ム」ズムズ_ム「ツ」ムズ_「ム」ー「ズ」ムズ(ム「ズ」ムズ)

※ムズムズ：くしゃみ直前

ムズムズ：くしゃみが出るまでまだ余裕がある

○風邪をひいたのか、鼻が～する。

「グ」スグス_「グ」ー「ス」グス_グ「ツ」グズ_グ「ズ」ググズ・

「ズ」ルズル_「ズ」ー「ル」ズル_ズ「ー」ッ「ル」ズル_ズ「ー」ル「ツ」ズル

◎カ「ゼ」ヒ「ー」タミテ「ア」ダデ ハ「ナ」ガ「グ」ー「ス」グススル「ワ」(風邪を引いたみたいだから、鼻がグースグスするよ。)

○山葵を入れすぎて、鼻が～する。

「ツ」ー「ン」と・「チ」ー「ン」と

※チーンよりもツーンを多用

3-6、口

○納豆は嫌いだ。口が～する。

ベ「ッタ」ベタ_ベ「タ」ベタ・ベ「ター」と・ヌ「ル」ヌル

◎ナ「ット」ーワキ「レ」ア「ダ」ク「チ」ガ「ベ」ター「ト」スル「デ」(納豆は嫌いだ。口がベターとするから。)

○あんまり甘い物を食べたから、口が～する。

ベ「タ」ベタ・ネ「チャ」ネチャ_ネ「ー」「チャ」ネチャ

○ご飯の腐りかけを食べたから、口が～する。

ネ「チャー」と

3-7、舌

○辛いカレーを食べたら、舌が～する。

ヒ「リ」ヒリ__ヒ「リ」ッヒリ__ヒー「リ」ヒリ・ヒ「リ」ット・ピ「リ」ピリ
 __ピ「リ」ッピリ__ピー「リ」ピリ・ピ「リ」ット・ピ「リ」ピリ__
 ピ「リ」ッピリ__ピー「リ」ピリ・ピ「リ」ット
 ※ピリピリ系を多用

3-8、歯

○寒くて、歯が～鳴っている。

「カ」チカチ（カ「チ」カチ）__「カー」チカチ__カーツ「チ」カチ

○恐ろしさのあまり歯が～鳴っている。

「ガ」チガチ__「ガー」チガチ__ガーツ「チ」ガチ

○虫歯がひどくて、歯が～する。

「チ」クチク（チ「ク」チク）__チ「クチク」__チー「ク」チク__
 チ「クー」チク・チ「クー」と・「シ」クシク（「シ」ク「シ」ク）__
 シー「ク」シク__シーツ「ク」シク__シ「クー」シ「ク」・シ「クー」と・
 ジ「ク」ジク（「ジ」ク「ジ」ク）__ジー「ク」ジク__ジ「クー」ジク・
 ジ「クー」と・ズ「キ」ズキ__「ズー」キズキ__ズ「キー」ズ「キ」
 ズ「キー」と・ズ「ッキ」ンズキン・「ズー」イズイ

◎「ハ」ガハ「レテキタラ」シテ コ「ノハ」グキノトコガ シーツ「ク」シク
 ス「ル」ンダワ（歯が腫れてきたらしくて、この歯茎の所がシーツクシクする
 のだよ。）

※歯痛の程度：チクチク系<シクシク系・ジクジク系<ズキーと・ズキズキ系<
 ズッキンズキン<ズーイズイ

3-9、喉

○水を飲んで、喉が～する。

ヒ「ンヤ」リ・「スー」と__「ス」ツと

○水をくれ。喉が～だ。

カ「ラカラ」__カ「ラッカラ」__カー「ラカラ」

◎ミ「ズチョーデア」ー 「チョ」ト「ノ」ドガカ「ラッカラダ」デ（水をちょう
 うだい。ちょっと喉がカラッカラだから。）

※乾きの程度：カーラカラ<カラッカラ

※ガラガラ（男性言葉）：「風邪をひいた時の喉の状態」では女性も使う

○風邪をひいて、喉が～する。

「ヒュー」ヒュ・「ゼー」ゼ・ガ「ラ」ガラ

○走ったために、息が苦しくて～いう。

「ハー」ハ・「ヒー」ヒ

○喉に何か引っかかって～する。

「ゴ」ロゴロ (ゴ「ロ」ゴロ) _ 「ゴー」ロゴロ

3-10、髪

○手入れがよくて、髪が～する。

サ「ラ」サラ _ サ「ラ」ッサラ _ サー「ラ」サラ _ サー「ラ」ッサラ・
サ「ラ」ッと

○手入れが悪くて、髪が～する。

バ「サ」バサ _ バーッ「サ」バサ・バ「サ」バサ _ バーッ「サ」バサ

IV 胸部

4-1、肩

○肩が凝って～する。

「コ」リコリ (コ「リ」コリ) _ 「コー」リコリ・「ゴ」リゴリ _
「ゴー」リゴリ

○肩が凝って～だ。

カ「チカチ」_カ「ッチカチ」・カ「ッチンカチン」・コ「ッチンコチン」・コ「ンコン」
_コ「ーンコン」

◎「カ」タガカ「ッチンカチンニ」コ「ット」ルモンダデ (肩がカッチンカチン
に凝っているから。)

※肩凝りの程度：ゴリゴリ系・コリコリ系<カッチンカチン・コッチンコチン
<コンコン系・カチカチ系

※コリコリ系よりもゴリゴリ系を多用

※カチカチ系よりもンン系を多用

4-2、胸

○あまりの恐ろしさに、胸が～する。

「ト」クトク・「ド」クドク _ 「ドー」クドク・ド「キ」ドキ _ ドー「キ」ドキ
ドー「キ」ンドキン・ド「キ」ッと

○悲しくて、胸が～する。

ズ「キ」ッと・「キュー」ッと・キ「リ」キリ

○吐き気で、胸が～する。

ム「カ」ムカ _ ム「ツカ」ムカ _ ムー「カ」ムカ

4-3、腹

○水を飲み過ぎて、腹が～する。

チャ「ボ」ンチャボン _ チャ「ボーン」チャ「ボーン」・チャ「ビ」ンチャピン _
チャ「ビー」ンチャピン・ダ「ブ」ンダブン _ ダ「ブー」ンダブン・
ダー「ボ」ダボ・ダ「ボ」ンダボン _ ダ「ボー」ンダボン

◎ム「ギ」チャノ「ミス」ギタモンデ オ「ナカガ」ダー「ボ」ダボスル (麦茶

を飲み過ぎたから、お腹がダーボダボする。)

※ダーボダボ・ダボンダボン系・ダブんだブンを多用

○食べ過ぎて、腹が～だ。

バ「ンバン・ポ「ンボン_ポ「ーンボン

※バンバンよりもボンボン系を多用

○お腹がすいて～いう。

「キューーキューー・「クラーケー・「グラーゲー

◎「オーナカガ「ス「イタモンデ「キューーキューーイ「ット「ルガネ(お腹がすいたから、キューーキューーっているよ。)

※キューーキューーを多用

○お腹が痛くて～する。

「シ「クシク_「シー「クシク(シー「ク「シク)_「シ「クー「シ「ク・シ「クー「ット・「キュー「ット

◎オ「ナカガ「シ「クー「ットイ「テァー「ンダワ(お腹がシクーッと痛いのだよ。)

※腹痛の程度：シークシク<シクーシク<キューッと

○お腹の調子が悪くて～する。

「ゴ「ロゴロ_「ゴー「ロゴロ・「グ「ルグル_「ゲー「ルグル・グ「ルグルグルグルー

※ゴロゴロ系よりもグルグル系を多用

○下痢気味で、お腹が～だ。

ピ「ーピー

4-4、胃

○胃が痛くて～する。

「チ「クチク_「チー「クチク_チ「クチクー・「キ「リキリ_「キー「リキリ_キ「リキリー・「ギ「リギリ_「ギー「リギリ_ギ「リギリ

◎ダ「ーンダ「ンイ「ガイタナ「ッテ「ギー「リギリイ「タ「ンデネー(だんだんと胃が痛くなって、ギーリギリと痛んでね。)

※胃痛の程度：チクチク系(チクチク<チークチク<チクチクー)<キリキリ系(キリキリ<キーリキリ<キリキリー)<ギリギリ系(ギリギリ<ギーリギリ<ギリギリ)

4-5、尻

○居心地が悪くて、尻が～する。

「ム「ズムズ(ム「ズ「ムズ)_ム「ズムズ_「ムー「ズムズ・モ「ソ「モソ_モ「ソモソー_「モー「ソモソ(モー「ソ「モソ)_モーッ「ソ「モソ

※モソモソ系を多用

V 手

○手を洗ったばかりで～だ。

ピーッ「タピタ・ピ」ッタンコ_ピーッ「タンコ

○緊張のあまり、手が～震える。

「ブ」ルブル（ブ「ル」ブル）_ブ「ツル」ブル_「ブー」ルブル
（ブー「ル」ブル）

VI 関節

6-1、首

○疲れて、首の骨が～する。

「コ」キコキ_「コー」キコキ・コ「キ」ンコキン（コ「キ」ンコ「キ」ン）_
コーッ「キ」ンコキン_コ「キー」ンコキン_コ「キーン」コ「キーン」・
「ゴ」キゴキ_「ゴー」キゴキ（ゴー「キ」ゴキ）・ゴ「キ」ンゴキン_
ゴ「キー」ンゴキン・「グ」キグキ

◎コーッ「キ」ンコキン カ「ンセツガ」イ「テア」ーワ（コーッキンコキンと
関節が痛いよ。）

※首の疲れの程度：コキコキ系<コキンコキン系<ゴキゴキ系・グキグキ<ゴキ
ンゴキン系

6-2、指

○指を曲げて～鳴らす。

「ボ」キボキ_ボ「ツキ」ボキ・「ボ」キボキ_「ボー」キボキ

※ボー「キ」ボキ・ボー「キ」ボキ：小枝を折った時の音

6-3、足

○歩きすぎて、足が～する。

「カ」クカク_「カ」ックカク・「ガ」クガク_「ガー」クガク・
ガ「ク」ンガクン・カ「ック」ンカクン

◎ア「シ」ガ 「カ」ックカクス「ル」ンダワ（足がカックカクするのだよ。）

※カクカク系よりもガクガク系・ガクンガクンを多用

※足の疲れの程度：ガクガク系<ガクンガクン

まとめ

当地における身体感覚を表すオノマトベに関して、下記のようにまとめる。

1、表現形の反復は、グルグルグルグル（腹の調子）以外は一繰り返しまだがほとんどである。

2、感覚の程度差は、「胃痛の程度：チクチク系<キリキリ系<ギリギリ系」のよう

に表現形の違いによって示されるものもあるが、基本的には同表現形の中で促音化、長音化することによって、つまりヒリヒリがヒリッヒリ、ヒーリヒリ、ヒーッリヒリになることによって、状態のひどさ、そしてそれに伴う感覚の大きさを表す。

- 3, アクセントは、例えばムズムズが「ム」ズムズ、ム「ズ」ムズのように、一語に二つのアクセント型を持つものが多いが、アクセントの違いが使用差、程度差などを表すことはあまりない。

尚、今回は話者との会話の中で語られたもののみ、二つの型を挙げた。

例外として、アクセントの違いによって意味が違うものに、シ「メ」シメ（身体）×「シ」メシメ（場所）、ヒョ「ロ」ヒョロ（身体のみ）×「ヒョ」ロヒョロ（痩せた体型）、フ「ラ」フラ（身体が）×「フ」ラフラ（頭が）、「ポー」キボキ（関節の音）×ポー「キ」ボキ（小枝の折れる音）が得られた。

この件については再調査を要する。

- 4, 当地ではヒリツク、ムズツクのように動詞化した語（擬態語+ツク）の使用が頻繁で、項目によっては「肌がかさかさする」のかさツクのように擬態語+ツクの語の方を多く使用する場合がある。尚、擬態語+ツクの語については別の機会に述べたい。

<おおたうたこ 椋山女学園大学文学部>